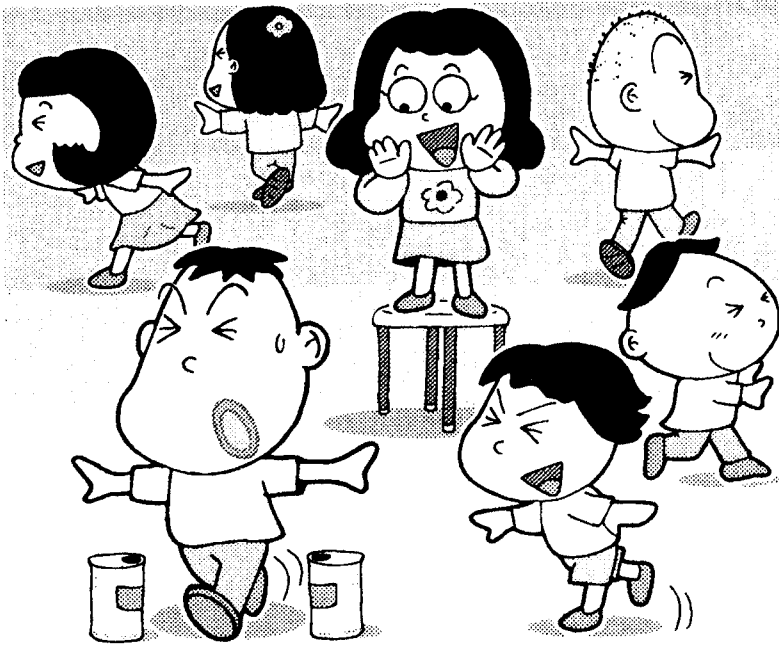


あそびのレシピ



夜間飛行

指示受けながら無事着陸

初めから無理難題を押しつけてられると、チャレンジ精神も委縮しがちですが、身の丈に合った目標に対しては意欲がわいてきます。そして目標

を達成したときの感動は、新しいチャレンジの基盤となり、サポートされながら、目標にのレベルを上げてみましょう。みんなが無事に着陸できたら、遊び旅を楽しみましょう。みんなの飛行機との距離や白らの進行方向に注意して快適な空の旅を楽しみましょう。みんなが無事に着陸できたら、遊び旅を楽しみましょう。みんなが無事に着陸できたら、遊び旅を楽しみましょう。

- 【人数】 10人 --20人
- 【場所】 体育館など
- 【道具】 空き缶4個といす2脚
- 【遊び方】

①二つのグループに分かれて、それぞれ1人ずつ航空管制官を決める。

②みんなに声が聞こえるような適当な場所にいすを置き、その上に航空管制官が立つ。適当な場所に空き缶2個を2缶ほど離して置き、「滑走路の端」として進入口を決める。

③ほかのメンバーは目を閉じ、夜間飛行のパイロットとなって好きな方向に飛行開始。

④管制官は、パイロットに指示を与えて滑走路まで円滑に誘導する。2個の空き缶の間（滑走路）を無事に通過できたら着陸成功。

⑤スタートする前に、管制可能な飛行機の数や飛行距離などを話し合っていると遊びやすい。

⑥飛行機を増やしたり、障害物の山を置いたり工夫して難易度を上げてみよう。飛行機の無線機が故障して突然、発信不能になるようなケースなどを加えても楽しめる。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363